

「見えない力の存在を 感じる事が大切なのです」

神棚マイスター・窪寺伸浩 (クボデラ代表取締役)



小山昇 (こやま・のぼる)

1948年山梨県に生まれ、東京経済大学卒業後、日本サービスマーチャンダイザー(現在の株式会社武蔵野)に入社。昭和52年に(株)ペリーを設立し社長に就任、昭和62年に現職に就任。平成2年、株式会社ダスキンの顧問に就任。平成4年顧問を退任、現在に至る。全国の経営者でつくる「経営研究会」主催。日本経営品質賞受賞の軌跡、中小企業のIT戦略、経営実践塾、経営計画書セミナーと、全国で年間120回以上のセミナーを行なっている。

偉大なる経営者だった、パナソニックの創業者・松下幸之助氏も神社信仰はたいへん深かったようです。本社には岩清水八幡宮の御分社があり、松下氏は毎日、そこにお参りされていたそうです。神社本庁の総長・田中恆清氏は、著書『神道のちから』の中で仰っています。

そのシンボルとしての会社の屋上や敷地内に祀られた神社、そして神棚です。

私はたんに神棚・棚板を販売するだけでなく、さまざまな企業で神棚の祀り方等をアドバイスする活動も行っています。現代のビジネス社会では、先人たちの素晴らしい智慧が忘れ去られようとしている危機感を感じたからです。かつては家庭でしっかりと継承されていたはずの智慧でした。せっかくオフィスに神棚を祀っても、社員たちがその意味を理解していなかったら神棚の効果も半減します。

日々、活動していくなかで、私自身気づかされ成長させられています。あらためて神棚を取り扱うことの意義をじみじみ感じているのです。お手伝いさせていただいた方々には、神棚を祀った効果で業績を伸ばした、素晴らしい経営者がたくさんおられるのですから。

今回は、株式会社武蔵野の小山昇社長の言葉をご紹介します。武蔵野は神棚を祀る前からすでに、立派な業績をあげておられました。

武蔵野はダスキンの有力加盟店であると共に、現役の経営者が直々に経営指導する経営サポート

事業部を持っています。そして、全国の三百数十社の経営者の様々な悩みを解決しているのです。それでも、神棚を祀って、小山社長もあらためてその意義を実感されたそうです。お話を伺っていて、さすがに一流の経営者の方は社員たちへの目配りからして違うと思いました。

神棚のちから

小山 正直いって、会社に神棚を祀るという意識はなかったですね。武蔵野本社の三階部分は、元々創業者の藤本寅雄の自宅で、当時は仏壇も神棚もありました。藤本の死後、遺族が引越すに当たり、仏壇も神棚もなくなりました。

しかし、三階部分を社長室、会議室に変更したのですが、内装の仕様は変わりませんでした。障子なども破れたまま、そのままにしています。

武蔵野(当時は日本サービスマーチャンダイザー)は、東京でのダスキン加盟第一号店です。創業者・藤本寅雄は、ダスキン創業者の鈴木清一さんの「祈りの経営」に共鳴して、加盟したので。本社の三階部分に、鈴木清一さんと藤本寅雄の写真を、これでもかと大きく飾っています。神様、仏様よりも、鈴木清一、藤本寅雄といった故人達が、私の神様、仏様以上の存在という認識があったのかも知れません。

ですから、神棚は祀っていませんでしたが、両創業者の理念、精神性を大切にしていました。しかし、ひよんなことから神棚を祀ることによって、いろいろ気づくことになりました。

窪寺 たいへん興味深いですね。それはどういったことでしょうか。



小山 そうですね。まず、社員・幹部が謙虚になりました。落ち着いてきました。私共には会社の憲法ともいえる「経営計画書」があるのですが、神棚をお祀りして以降、交通安全の為にお願いを受けること、社員自らが明文化しました。

窪寺

窪寺 たいへん大きな変化ですね。
小山 やはり、見えない力を信じていることができる人は素晴らしいです。神棚を祀ることによって、見えない力の存在に気がついたんですね。社員達の構想力が一まわり大きくなったような気がします。

窪寺 私自身も日々、そのようなことを実感しています。
小山 各営業所にも神棚はないのですが、所長の裁量でお札などを祀っています。やはり、そういうものを大切にしている所長は、交通安全とか所内安全とか業績発展とか、部下のこと、全体のことを考えていて、伸びますね。神棚を祀ることによって、社員の潜在能力が引き出されたような気がします。

窪寺 そのように仰っていたら、神棚を準備させていただいた方といたしましても嬉しい限りです。あらためて神棚を祀る意義を教えてください。誠にありがとうございます。

窪寺伸浩 (くぼいら・のぶひろ)

1961年4月22日、東京都中野に生まれる。東洋大学文学部哲学科卒業。クボデラ有限会社代表取締役、マルトミホーム株式会社代表取締役。木材業のかたわら、神棚・棚板のバイオニア企業としても活動。さまざまな企業の朝礼で神棚の祀り方等をアドバイス、好評を博している。